ヨットOP級 世界選手権へ
芦屋・精道中2年の吉田君
7月 エクアドルで開催
「海外の風 楽しみ」

南米エクアドルで七月に開かれるヨットのオプティミスト（OP）級世界選手権に、芦屋市の精道中学二年、吉田工作君（一三）＝同市西蔵町＝が出場する。県内からの出場は二人目。十三日、同市の山中健市長を訪ねた吉田君は「初めて体験する海外の風や潮を楽しみにしています」と抱負を語った。（和田和也）

OP級ヨットは、全長二・三㍍の一人乗り競技専用艇。国際セーリング連盟が承認する最も小さい艇のクラスで、十五歳以下を対象に毎年世界大会が開かれている。

吉田君は小二でヨットを始め、十歳で初めて全日本選手権に出場。三度目の挑戦となった昨年は十六位に入り、最終選考会では四位と健闘した。上位五人までの世界選手権の切符を手にした。

現在は所属する県セーリング連盟ジュニアヨットクラブ（芦屋市）で毎週末、大会に向けた最終調整をしている。

元コーチの神谷良成さん（四八）は「初めて乗ったときからセンスが光っていた。自分のスタイルを持った頭のいい選手」と太鼓判を押す。

大会は七月十四―二十五日、各国から約一百人が参加し個人戦と国別団体戦で競う。

国際大会への抱負を語る吉田工作君＝芦屋市役所

トーク&トーク
…えるのは地域
尾道市立土堂小学校校長
陰山（かげやま）　英男（ひでお）さん

校長を務めている尾道市立土堂小学校では、PTAなどからなる「地域学校協議会」が学校運営の方針を提言している。それが文科省の掲げる方針と異なる場合は、協議会の提言が優先されると…

子どもの見守り方大切

…への熱意が学校運営を支えている。

就任時、保護者らを前に「秋には子どもたちを変えてみせる」と大見えを切り、独自のカリキュラムを組んで実践してきた「読み書き計算の反復練習」を実行した。

同じ問題に繰り返し挑戦するのだが、ここが最大のポイント。徹底反復という学習法は嫌われるが、子どもは反復練習で基礎的な知識を覚え、その結果、思考力が高まる。その年の秋には、地元の人々から「子どもたちの…

声が大きくなった」という反応があった。

計算に要する時間を計る、教科書を大きな声で読み上げる、暗唱する―など、自分の成長が手にとるように分かると、自信が態度に表れてくるから…

学習能力を伸ばすにはどうすればいいか。勉強することは簡単で、ない。だが、その集中の引き出し方が大切。大人が子どもの理解に…めてあげることで…を感じたことに挑戦…る。…

…伸びなかった…

「薬草」ラーメンいかが
16日に山南で岩尾城まつり 「城登り」挑戦を

…の史跡に指定された山城をPRする「岩尾城まつり」が十六日午前九時から、氷上郡山南町の和田小学校を主会場に開かれる。薬草栽培が盛んな同町は「漢方の里」と…

…して知られ、会場では薬草をめんに練り込んだ「健康らーめん」を販売する。

岩尾城は一五一六年、和田日向守斉頼によって築かれ、明智光秀の丹波攻めで約六十年後に落城。一度は修復されたが、豊臣秀吉の…で十年後に取り壊された。修復を経たため、中世と近世の城郭を持つ。石垣が…

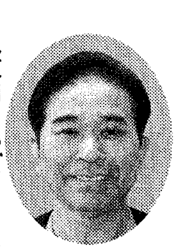
岩尾城まつりで販売される「健康らーめん」

プラスα
フレンテホール　西宮市
沖縄の豊かな文化楽しんで

沖縄・八重山を代表する民謡「とぅばらーま」の全国大会が九月、八重山で開かれるのを前に関西予選会を開きます。それに合わせて島唄や舞踊、エイサーなどの琉球芸能も披露します。

八重山とぅばらーま同好会は、沖縄文化の発信に、役員お…と昨年、神戸、阪神間の愛好者約十人で結成。毎年予選会を開いています。

八・八・八・六の四句からなる「琉歌」と呼ばれる沖縄流の短歌に、三線などで節を付けた民謡。与那国島の方言で「出会う」を意味する「とぅばるん」が語源で、四百年もの間歌い継がれてきたといわれます。男女の仲や風景、戦争を歌ったものもあり胸に染みます。



八重山とぅばらーま同好会代表
仲里廣文さん（58）